

今年も宜しくお祈りします！

ご安全に！2024年を迎えました。本来であれば、皆で新年を祝うところですが、元日の能登半島地震、翌日の航空機事故と「まさか」の年明けとなりました。亡くなられた方々のご冥福をお祈り致します。

その能登半島地震では、甚大な被害により厳冬の中での避難生活を余儀なくされている石川県の皆さんはもとより、建物や道路などの被害により近隣の福井、富山、新潟などでも不自由な生活を余儀なくされている地域もあります。被災された皆様に心からお見舞いを申し上げるとともに、被災者の救済、復興支援のために、昼夜を分かたずご尽力されている方々へ深甚なる敬意を表します。基幹労連としても、被災状況を把握しながら連合の動きなどもふまえ、対応してまいります。

さて、話は変わりますが、色々な方から神田前委員長はどうされていますか？と聞かれるので、神田さんから頂いた近況連絡（メール）をご紹介します。

まずは、「昨年12月末をもって日本製鉄を退職（定年）し、普通のおじさんに戻りました」との書き出しではじまり、「1月4日より、日本製鉄豊明寮で若い人のエキスを吸いながら元気にフルタイム勤務となりました」とのこと。役員を退任されたら大分に戻り、寮長をやりたいと言われてましたので、交替勤務の実習や講習の受講と忙しそうですが、念願の仕事に就かれ張り切っておられるようです（寮生の皆さんが大丈夫かと気にはなりますが（笑））。そして、メールの最後には、「ボランティア派遣の検討や、郡山りょう氏の取り組み、そしてAP24春季取り組みとご苦労は多いでしょうが、元気があれば何でもできる、みんなの笑顔をつくる為、がんばらんば。体調管理も忘れずに！」とのエールを頂きました。先輩の思いもしっかりと受け止め、「頼れる産別」「誇れる産別」となるよう今年も役職員一同、力を合わせて運動・活動を推進してまいります。引き続きのご理解とご協力を宜しくお祈り致します。

初出の1月5日、水天宮へ安全祈願に行ってきました...が、残念ながら既に2件2人の死亡災害が発生してしまいました。安全衛生対策委員会委員長の事務局長からの談話も発信しますが、2月は安全衛生対策強化月間です。災害のない無災害職場の確立に向け、労使一丸となった取り組みをお願い致します。

2024年1月31日 友引
日本基幹産業労働組合連合会
中央執行委員長 津村 正男

追伸：前回メッセージの写真の答えは「アボカド」です